

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	中和医療専門学校
設置者名	学校法人葛谷学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科	夜・通信	90	9	
	はり、きゅう科	夜・通信	92	9	
医療専門課程	柔道整復科（Ⅰ部）	夜・通信	72	9	
	柔道整復科（Ⅱ部）	夜・通信	71	6	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/">https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/</a> 「教育課程表」に付け加えて記載
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	中和医療専門学校
設置者名	学校法人葛谷学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/>  
「情報公開について」の中（3ページ目）に記載

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	R2(2020).4.1 ～ R6(2024).3.31	学外の学識経験者 としての意見
非常勤	施術所開業	R2(2020).4.1 ～ R6(2024).3.31	学外の実務経験者 としての意見
非常勤	元大学職員	R2(2020).4.1 ～ R6(2024).3.31	学外の学識経験者 としての意見
非常勤	元公務員	R2(2020).4.1 ～ R6(2024).3.31	学外の学識経験者 としての意見
非常勤	税理士	R2(2020).4.1 ～ R6(2024).3.31	学外の学識経験者 としての意見
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	中和医療専門学校
設置者名	学校法人葛谷学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科及びはり、きゅう科においては、学科検討委員及び実技検討委員が中心となり、非常勤講師を含めた学科検討会議・実技検討会議をそれぞれ開催し、検討のうえ作成している。</p> <p>学科検討会議は年2回、実技検討会議は年3回開催され、年度末に次年度のシラバスを確定し、新年度の始めに配布を行っている。</p> <p>柔道整復科においては、常勤教員が中心となり、非常勤講師も含めた専門科目会議を年2回開催し検討を行い、年度末に次年度のシラバスを確定し、新年度の始めに配布を行っている。</p> <p>インターネットにおける公表も行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/">https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスにおいて各科目毎の学修内容・到達目標・成績評価等を記載している。また、「生徒便覧」を配布し、この中に履修要項を記載し、出席管理や試験制度、単位授与・履修認定、進級・卒業判定の基準等が記載され、これに基づき進級・卒業判定会議を実施している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価の基準は細則に定めており、各期末の定期試験と臨時試験その他を勘案して行い100点を満点とし、60点以上を合格とし、優・良・可・不可の4段階評価を行っている。</p> <p>成績管理は、パソコンの学籍管理システムを用いている。</p> <p>各科目毎の成績一覧において平均点や得点順位が記載される他、クラス毎の個人別平均点によりクラス内の順位をだしている。</p> <p>この学籍管理システムに各試験の得点データを入力し、そのデータから様々な集計が可能となっている。</p> <p>どのような成績表・集計表を出すかの規程は現時点ではないが、一般的に作成される成績表や成績順位表は作成している。この他にも、この学籍管理システムにより、様々な集計表の作成が可能であり、必要に応じて作成を行っている。</p> <p>「生徒便覧」において、成績表の交付とその時期について記載をしている。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>生徒便覧（学則・細則を含む）を事務室に設置</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則の教育課程表に記載されている全ての科目の単位を修得し、卒業判定会議において卒業の認定を行う。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>生徒便覧（学則・細則を含む）を事務室に設置</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	中和医療専門学校
設置者名	学校法人葛谷学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/">https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/">https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/</a>
財産目録	<a href="https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/">https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/</a>
事業報告書	<a href="https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/">https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/">https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科	平成14年 文部科学省 告示第24号	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	103 単位	68 単位	10 単位	25 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	103単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
210人		204人	0人	12人	26人	38人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 授業方法及び内容、年間の授業計画については、学科検討委員及び実技検討委員が中心となり、非常勤講師を含めた学科検討会議・実技検討会議をそれぞれ開催し、検討のうえ作成している。 学科検討会議は年2回、実技検討会議は年3回開催され、年度末に次年度のシラバス等を確定し、新年度の始めに配布を行っている。
成績評価の基準・方法 （概要） 成績評価の基準は細則に定めており、各期末の定期試験と臨時試験その他を勘案して行い100点を満点とし、60点以上を合格とし、優・良・可・不可の4段階評価を行っている。
卒業・進級の認定基準 （概要） 「生徒便覧」を配布し、この中に履修要項を記載し、出席管理や試験制度、単位授与・履修認定、進級・卒業判定の基準等が記載され、これに基づき進級・卒業判定会議を実施している。

学修支援等 (概要) 成績不良者を対象とした補講の実施、担任による個別相談の実施、また希望者を対象とした特別講座を実施している。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
65人 (100%)	2人 ( 3.1%)	60人 ( 92.3%)	3人 ( 4.6%)
(主な就職、業界等) 鍼灸・マッサージ等施術所、病医院、介護福祉施設、スポーツトレーナー等			
(就職指導内容) 企業説明会の開催、担任・就職担当教員及び事務職員が連携し個別指導を行う。			
(主な学修成果（資格・検定等）) あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
202人	3人	1.5%
(中途退学の主な理由) ・健康上の理由 ・親の介護のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担任による面談等の実施		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	はり、きゅう科	平成14年 文部科学省 告示第24号	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	100 単位	66 単位	11 単位	23 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			100単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	75人	0人	12人	17人	29人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業方法及び内容、年間の授業計画については、学科検討委員及び実技検討委員が中心となり、非常勤講師を含めた学科検討会議・実技検討会議をそれぞれ開催し、検討のうえ作成している。 学科検討会議は年2回、実技検討会議は年3回開催され、年度末に次年度のシラバス等を確定し、新年度の始めに配布を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価の基準は細則に定めており、各期末の定期試験と臨時試験その他を勘案して行い100点を満点とし、60点以上を合格とし、優・良・可・不可の4段階評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 「生徒便覧」を配布し、この中に履修要項を記載し、出席管理や試験制度、単位授与・履修認定、進級・卒業判定の基準等が記載され、これに基づき進級・卒業判定会議を実施している。
学修支援等
（概要） 成績不良者を対象とした補講の実施、担任による個別相談の実施、また希望者を対象とした特別講座を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	19人 (95%)	1人 (5%)
（主な就職、業界等） 鍼灸・マッサージ等施術所、病医院、介護福祉施設、スポーツトレーナー等			
（就職指導内容） 企業説明会の開催、担任・就職担当教員及び事務職員が連携し個別指導を行う。			

(主な学修成果(資格・検定等)) はり師、きゅう師
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担任による指導 ・入学時に基礎学力試験を実施し、その結果を考慮した指導を行っている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	柔道整復科（I部）	平成15年 文部科学省 告示第24号	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	102 単位	70 単位	6 単位	26 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			102単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	49人	0人	6人	19人	25人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業方法及び内容、年間の授業計画については、常勤教員が中心となり、非常勤講師も含めた専門科目会議を年2回開催し検討を行い、年度末に次年度のシラバス等を確定し、新年度の始めに配布を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価の基準は細則に定めており、各期末の定期試験と臨時試験その他を勘案して行い100点を満点とし、60点以上を合格とし、優・良・可・不可の4段階評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 「生徒便覧」を配布し、この中に履修要項を記載し、出席管理や試験制度、単位授与・履修認定、進級・卒業判定の基準等が記載され、これに基づき進級・卒業判定会議を実施している。
学修支援等
（概要） 成績不良者を対象とした補講の実施、担任による個別相談を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	19人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 柔道整復施術所、病医院、介護福祉施設、スポーツトレーナー等			
（就職指導内容） 企業説明会の開催、担任・就職担当教員及び事務職員が連携し個別指導を行う。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 企業説明会の開催、担任・就職担当教員及び事務職員が連携し個別指導を行う。
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58人	4人	6.9%
(中途退学の主な理由) ・学業不振 ・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担任による指導 ・入学時に基礎学力検査等を実施し、その結果を考慮した指導を行っている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	柔道整復科（Ⅱ部）	平成15年 文部科学省 告示第24号	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜間	102 単位	70 単位	6 単位	26 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			102単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	26人	0人	6人	19人	25人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業方法及び内容、年間の授業計画については、常勤教員が中心となり、非常勤講師も含めた専門科目会議を年2回開催し検討を行い、年度末に次年度のシラバス等を確定し、新年度の始めに配布を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価の基準は細則に定めており、各期末の定期試験と臨時試験その他を勘案して行い100点を満点とし、60点以上を合格とし、優・良・可・不可の4段階評価を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 「生徒便覧」を配布し、この中に履修要項を記載し、出席管理や試験制度、単位授与・履修認定、進級・卒業判定の基準等が記載され、これに基づき進級・卒業判定会議を実施している。
学修支援等
（概要） 成績不良者を対象とした補講の実施、担任による個別相談を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	7人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 柔道整復施術所、病医院、介護福祉施設、スポーツトレーナー等			
（就職指導内容） 企業説明会の開催、担任・就職担当教員及び事務職員が連携し個別指導を行う。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 柔道整復師
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担任による指導 ・入学時に基礎学力検査等を実施し、その結果を考慮した指導を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科	400,000 円	1,140,000 円	340,000 円	
はり、きゅう科	250,000 円	920,000 円	320,000 円	
柔道整復科 (Ⅰ部)	250,000 円	920,000 円	320,000 円	
柔道整復科 (Ⅱ部)	200,000 円	860,000 円	200,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/">https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学内において自己点検評価報告書を作成し、これを基に学校関係者による外部評価を行う。学校教育・運営に関して中和医療専門学校と関係の深い業界団体・企業・卒業生・保護者等の意見を聴き、職員会議等を通して学校教育・運営の向上を図るようにする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
施術所 (院長)	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	企業等委員
施術所 (院長)	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	卒業生
業界団体 (副会長)	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	企業等委員
施術所 (院長)	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	卒業生
後援会 (役員)	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	保護者
後援会 (役員)	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/">https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.chuwa.ac.jp/information/disclosure/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	中和医療専門学校
設置者名	学校法人葛谷学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		7人	6人	7人
内 訳	第Ⅰ区分	4人	5人	
	第Ⅱ区分	2人	1人	
	第Ⅲ区分	1人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				7人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)
------

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	2人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	2人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。